

## 練馬区社会福祉協議会マップ

～お気軽にご相談ください～

**かたくり福祉作業所 ジョブサポートかたくり**  
大泉町3-27-10

**かたくり福祉作業所出張所**  
大泉町1-34-12

**大泉ボランティア・地域福祉推進コーナー**  
東大泉1-28-11リスモ大泉学園2階

**光が丘ボランティア・地域福祉推進コーナー**  
光が丘2-9-6光が丘区民センター6階

**石神井障害者地域生活支援センター「ういんぐ」**  
石神井町7-3-28石神井保健相談所併設

**豊玉障害者地域生活支援センター「きらら」**  
豊玉北5-15-19豊玉すこやかセンター6階

**白百合福祉作業所**  
石神井町5-13-10

**関町ボランティア・地域福祉推進コーナー**  
関町北1-7-14関町リサイクルセンター1階

**生活サポートセンター**  
豊玉北6-12-1練馬区役所西庁舎3階

**練馬ボランティア・地域福祉推進センター**

**権利擁護センター「ほっとサポートねりま」**

**障害者就労支援センター「レインボーワーク」**

**お問い合わせ** 〒176-0012 練馬区豊玉北5-14-6 新練馬ビル5階 | TEL.03-3992-5600 (代表)



この冊子(概要版)は、地域福祉活動計画の概要を伝えるために作りました。  
概要版を見て興味を持ってくださった方、事例をもっと知りたい方は、是非 地域福祉活動計画もご覧ください。  
地域福祉活動計画は、お近くの社協窓口やホームページでご覧になることができます。

二次元コードをスキャンして、  
地域福祉活動計画へGO!!



または、お近くの社協窓口へ

### 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北5-14-6 新練馬ビル5階  
TEL: 03-3992-5600 FAX: 03-3994-1224  
<https://www.neri-shakyo.com> 発行: 令和7(2025)年4月

# 第6次 概要版 地域福祉 活動計画

令和7(2025)年度  
令和10(2028)年度

ひとりの不幸も見逃さない  
つながりのある地域をつくる



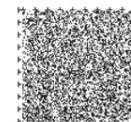
### 基本理念

練馬区社会福祉協議会(以下、練馬区社協)は、  
「ひとりの不幸も見逃さない  
つながりのある地域をつくる」を  
理念に掲げ、住民や地域の活動団体などを  
つなげていくことを通じて、見過ごされる人が  
出ない地域づくりを目指しています。

### 地域福祉活動計画とは

社会福祉協議会が呼びかけて「住民」「地域において社会福祉に  
関する活動を行う者」「社会福祉を目的とする事業(福祉サービス)  
を経営する者」が相互協力して策定する、地域福祉の推進を目的  
とした民間の活動・行動計画です。  
この計画は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが  
できるよう、私たちが取り組む地域課題と目指す将来像を示しています。

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会



音声コード Uni-Voice

私たちは、ひとりの不幸も見逃さない～つながりのある地域をつくる～の理念を実現するために、第6次地域福祉活動計画では 3つの柱を定めて活動をします。

地域福祉の大きな木を育てましょう

柱 1

## 認め合う

一人ひとりの生き方を認め支え合う

柱 2

## つながる

つながり支え合う  
地域をつくる

柱 3

## 参加する

それぞれの居場所や  
出会いの機会をつくり  
支え合う

# 第6次地域福祉 活動計画の推進力

「ネリーズ」「ねりま社会福祉法人等のネット」「地域福祉コーディネーター」は、「ひとりの不幸も見逃さない～つながりのある地域をつくる～」ことを目指し、計画に沿ってこれまでも活動してきました。第6次計画では、これらを地域福祉 活動計画の「3つの推進力」と位置づけ、地域福祉の更なる取り組みを進めます。



### ネリーズ

日々の暮らしの中で近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守り合い、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している地域のみなさん。「ネリーズ」は、地域福祉協働推進員の愛称。地域のために何かしたいと考えて、解決につなげようとする方はもちろん、暮らしやすい地域をつくりたいという思いを持っている方もみなネリーズです。

### 地域福祉コーディネーター

社会福祉協議会の職員。様々な分野の関係機関、団体、地域住民をつなげ、地域課題の共有や解決に取り組む「地域のつなぎ役」。ねりま社会福祉法人等のネットワークやネリーズを「つなぎ」、地域の皆さんとともに地域の課題解決に向けて取り組みます。

### ねりま社会福祉法人等のネット

区内の社会福祉法人が中心になり、それぞれの専門性を生かし地域福祉を推進していくためのネットワーク。これまで地域の特性を生かしながら、「就労体験」「交流の場・居場所づくり」「福祉教育」など様々な取り組みをしてきました。また、生活課題などを身近な地域で早期に相談につなげていく取り組みも進めています。

社会福祉法人等のネットの「等」には社会福祉法人に加えて、民生児童委員協議会やNPO、地域活動団体など多様な主体とも連携をしていく、という意味が込められています。複合化する生活課題に対応していくためには、多様な主体とも連携し、広く相談を受け止め地域福祉の向上を目指し、ネットワークを拡充していきます。



詳しくは本編を  
ご覧ください！



柱

取組項目

目指す姿

対応する地域福祉  
活動計画のページ

柱1

認め合う

① 包括的に相談を受け止める

誰もが安心して相談できる  
場や人とつながっている

P.27

② その人らしい地域生活を支える

誰もが自分らしく地域で暮らせる

P.29

③ 「共に生きる力」を育む福祉教育

多様性を認め合える地域

P.31

柱2

つながる

④ 地域の住民・団体・企業の  
連携を推進する

多様な主体がつながり協働できる地域

P.33

⑤ 地域課題を共有できる  
ネットワークづくり

今日的な課題に関心を持ち共有できる場がある

P.37

⑥ 災害に備えた地域づくり

災害に備えたつながりや支えあいのある地域

P.41

⑦ 福祉人材の育成

練馬で学んだ人材が地域で活躍する

P.43

柱3

参加する

⑧ 誰もが参加できる  
地域活動の推進

参加する人、参加する場、  
参加を応援する人が増える

P.45

⑨ 多様なはたらき方の拡充

多様なはたらき方ができる地域

P.47



例えば…

～地域にいる困っている人を一人にしないために、私たちができること～

# 地域でこんな取り組みが広がっています

貧困

8050  
問題

孤独・孤立

引きこもり

不登校

まずは、地域に関心を持つ、そして次につなげる…。困っている人を一人にしない。それが地域課題解決の最初の一步です。  
地域の中で気になることがあったら、地域の相談役や地域福祉コーディネーターに是非相談してください。

## 地域に関心を持ち、知る

### ～地域の中で何かできないかと お客さんを見守っているコンビニの話～

(店長さんの声)

ある時、お客さんの中にお風呂に入れているか心配な方がいました。どうしようかと考え、日頃から関係ができていた地域福祉コーディネーターに相談しました。



その後、地域福祉コーディネーターが地域包括支援センターにつなげ、一緒に見守っていくことになりました。

### ～地域のスーパーの取り組み～

家庭で余っている食品を集めるフードドライブ活動に取り組んでいるスーパーマーケットがあります。

また、販売はできないけれど品質に問題はない日用品や食材を練馬区社協に寄付する活動をしているスーパーマーケットもあります。

寄付で集まった食品は練馬区社協が受け取りに行き、生活に困窮している人や地域の子ども食堂へお渡ししています。



## ネットワークで地域づくりに取り組む

ねりま社会福祉法人等のネットでは、施設や事業所等の枠を超え、また民生・児童委員や地域活動団体などとともにネットワークで地域づくりに取り組んでいます。

### ～福祉のやりがいや楽しさを伝える～

保育・児童・高齢・障害の施設職員が福祉の仕事のやりがいや楽しさ、役割について、現場の声を伝える取り組みを行っています。「ボランティアをしてみたい」という参加者もいて、福祉に興味を持ってもらうきっかけ作りになっています。



施設のイベントを活用した「福祉なんでも相談コーナー」も各地で開催しています。

### ～就労体験で次の一步を踏み出す～

社会福祉法人と連携し、はたらく力を習得するための取り組み「就労体験」を行っています。本人を受け止め、見守り、次の一步を踏み出す自信を身につける環境作りを進めています。



農作業を通じた地域交流・就労体験の様子

## はじめは一本の電話から

～「地域で発達性読み書き障害の理解を深めるプロジェクト」が、広がっています～



ある日、地域福祉コーディネーターのもとに、発達性読み書き障害があるお子さんがいるお母さんから相談が寄せられました。その内容は、教科書にルビ振りをするボランティアを依頼できないか、というもの。地域福祉コーディネーターはルビ振りのボランティアをコーディネートします。

この一人のお母さんの悩みをきっかけに、「この障害についてもっと知る必要がある」と感じた地域福祉コーディネーターは、勉強会を開催。そして、勉強会で知り合った保護者の「もっと情報交換がしたい」との思いから「えるでい～学習障害について考える会～」ができました。



えるでいの様子

その後、「もっと多くの人がこの障害のことを知ってくれたらいいのに…」という悩みを抱えた私たちに、大きな転機が訪れます！

地域福祉コーディネーターが東京練馬中央ロータリークラブの方とお話する機会があり、「えるでい」の皆さんの悩みを伝えたところ、発達性読み書き障害を広めるための取り組みに協力して下さることに！

ロータリークラブだけでなく、多くのボランティア、団体、機関、企業など様々な立場の方の協力を得て、冊子の発行や、動画作成、YouTubeでのシンポジウム配信など、このプロジェクトを進めることができました。地域福祉コーディネーターのもとには、現在も全国各地から問い合わせが入っています。

第6次計画でも引き続き、地域にいる困っている人たちに対する理解者が増えるよう、団体・関係機関と連携しながら取り組みを広げていきます！



詳しくはこちらから



## 地域のイベントに参加する

車いすユーザーでネリーズでもあるAさん。「地域に車いすの人や高齢者が住んでいることを知ってほしい。いざという時、助け合えるようにしたい」と地域のイベントにも積極的に参加しています。「地域ではいろんな人が声をかけてくれます。声を聞かないと元気がなくなって気になります。」



かたくりあじさいフェスタでの様子  
地域のイベントへ参加することは、地域と地域に暮らす人たちを知るきっかけになります。

## ネリーズになる！



ネリーズ交流会の様子

地域には、近くの人たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあっている方々「ネリーズ」がいます。地域の良いところや一緒にやってみようことを気軽に話せる場「ネリーズ交流会」では、ちょっとした気になることや気づきを語り合っています。ネリーズの輪が続々と広がっています！

高齢のお隣さん宅の戸戸が開いているか、毎朝気にかけています。

外国の人と交流していて、自分の常識が通用せず、驚くこともあります。でも、じっくり話すことで違いが分かりあえるようになりました。



いつでも社協の各窓口で受け付けています



ここで紹介した事例以外にも、地域ではさまざまな取り組みが始まっています。ぜひ本編もご覧ください！

